

22年6月議会審議日程

	曜	会議	場所	備考
6月7日	火	本会議	議場	議案提案・総括質疑
6月8日	水	厚生委員会	第一委員会室	付託案件の審査 平良木議員担当
6月9日	木	農政建設委員会	第一委員会室	付託案件の審査
6月10日	金	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件の審査 上野議員担当
6月13日	月	総務委員会	第一委員会室	付託案件の審査 橋爪議員担当
6月14日	火	一般質問	議場	各議員の質問日は 追ってご案内 いたします
6月15日	水	一般質問	議場	
6月16日	木	一般質問	議場	
6月17日	金	一般質問	議場	
6月21日	火	本会議	議場	

新議長に石田氏など市議会の新体制決定

市議会は改選から2年が経過したことを受けて、5月に議長人事や各委員会の構成などを一新しました。

議長には石田裕一議員、副議長には渡邊隆議員が選出されたほか、各常任委員長は、総務：滝沢一成、厚生：杉田勝典、農政建設：丸山章、文教経済：池田尚江の各議員に決まりました。

議長・副議長の選出では、全議員による選挙の前に意欲のある議員によって所信表明が行われることになっています。今回は議長選挙では石田議員の他に滝沢一成議員、副議長選挙では渡邊議員の他に党議員団の平良木哲也議員が所信を述べました。

平良木議員は、「議長及び副議長は、議会の活動原則に則り、高い倫理観を持って誠実にその職務を遂行し、自らの言動等に責任を持つこととともに、先頭に立って不断の研さんに努め、自己の資質を高めることが必要である」と所信を表明し支持を訴えましたが、およびませんでした。

今後、新議長・副議長が約2年にわたり議会運営の先頭に立つこととなります。議長らの責務は、議会基本条例に基づいた中立、公

正な議会運営に努めることですが、二人には、その責務を果たすことや議会運営の手腕が問われます。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.751 2022年6月5日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

「自治基本条例に立ち返ること」などを提言

上越市議会は5月16日、「地域自治・住民自治、地域協議会、総合事務所に関する提言書」を中川市長に提出しました。提言書は、総務常任委員会が2年間にわたって調査研究活動を行いまとめたものです。

その内容としては、◎今一度上越市の自治体憲法「上越市自治基本条例」に立ち返ること、◎(地域協議会)はそれぞれの区の地域計画の策定を目指すこと、◎(同)自主的審議を優先的に行うこと、◎(同)幅広い世代・女性の参画を図ること、◎すべての総合事務所において地域自治・住民自治を支える権能を強化することなど、これまでの実績を踏まえた積極的な改善を求める項目が挙げられています。

しかし反面、◎現在の自治区設定がこれからも相応しいものであるか早急に検討すること、◎公募公選制による地域協議会委員の選出方法を検討すること、◎13区の総合事務所の機能集約及び機能分担を図ることなど、現在の地域協議会制度のあり方を変える面も含んでおり、議論を呼びそうです。



「原発なくして病院のこす」掲げた

片桐なおみさんが健闘

5月29日投開票で行われた新潟県知事選挙では、現職の花角知事に挑んだ片桐なおみさんが、203,845票を獲得し、当選には至りませんでした。大いに健闘しました。

選挙戦では、「原発なくして病院のこす」のスローガンを県民に広く訴え、「ウクライナを見てもやっぱり原発は危険、逃げられないし無くすしかない」「地域から病院がなくなったら、私たちは生きていけない」との多くの共感を呼びました。こうした県民の思いが示されたことは、今後の花角氏の県政運営にも大きな影響を与えることとなります。

片桐さんは選挙戦を終え、「負けたけど、なんのこれしき」「私達の方に正義はあると確信している」「今日からが、原発をなくす新たな始まり」と語り、公約実現に向けて引き続きがんばっていく決意を表明しました。



候補者名	県全体		上越市	
	得票数	得票率	得票数	得票率
片桐なおみ	203,845	22.5%	17,521	22.9%
花角英世	703,694	77.5%	59,030	77.1%